

2022年3月期 第3四半期決算 機関投資家向け説明会資料

(証券コード：6368)

オルガノ株式会社
2022年2月24日

目 次

1. 会社概要
2. 2022年3月期 第3四半期決算
3. オルガノのご紹介

目 次

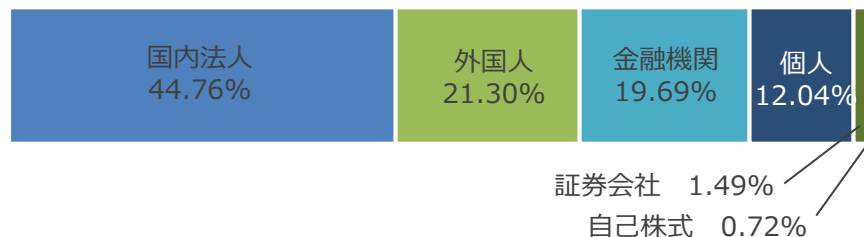
1. 会社概要
2. 2022年3月期 第3四半期決算
3. オルガノのご紹介

会社概要と株主構成

■ 会社概要

社 名	オルガノ株式会社
本社所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号
設 立	1946年5月1日
代表者	代表取締役社長 内倉 昌樹
資本金	8,225,499,312円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (2022年4月よりプライム市場に移行予定)
発行済株式総数	11,589,925株
株主総数	4,486名 (2021年9月30日)

■ 株主構成



■ 大株主（上位10名）

(2021年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東ソー (株)	4,925	42.81
日本マスタートラスト信託銀行 (株) (信託口)	971	8.44
(株) 日本カストディ銀行 (信託口)	636	5.53
(株) みずほ銀行	200	1.74
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	187	1.63
ビービーエイチ ザ アドバイザーズ インナー サークル ファンド ツー コペルニク グロ オール キャップ ファンド	162	1.42
エムエルアイ フォークライアントジェネラル オムニノンコラテラルノントリーティー ピービー	156	1.36
KBC BANK NV - UCITS CLIENTS NON TREATY	144	1.25
ビービーエイチ ボストン カストディアン フォー ビービーエイチティー エスアイエイ ヘプタゴン ファンド ピーエルシー コペル 620357	115	1.00
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	96	0.84

オルガノグループ各社



【日本】

オルガノ
オルガノプラントサービス
オルガノエコテクノ
オルガノフードテック
オルガノアクティ
ホステック
東北電機鉄工(※)

【台湾】

オルガノ・テクノロジー

【中国】

オルガノ（蘇州）

【マレーシア】

オルガノ（アジア）

【インドネシア】

ラウタン・オルガノ・ウォーター

【ベトナム】

オルガノ（ベトナム）

【タイ】

オルガノ（タイランド）

【米国】

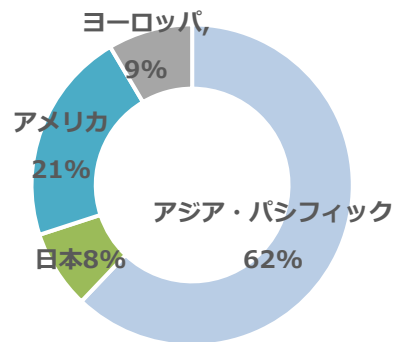
オルガノ(USA)

【シンガポール】

オルガノ（シンガポール）

(※)は持分法適用会社、下線は非連結子会社・関係会社

地域別半導体生産シェア
(2021年 WSTS調べ)



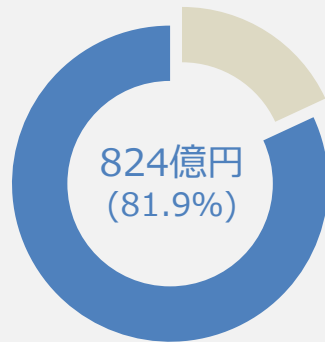
アメリカ・アリゾナに現法設立

これまで日本・中国・台湾など
東アジアやマレーシアなど電子産業
分野の集積地を中心に進出。

顧客工場の進出に合わせて2021年
9月に米国現法を設立。納入体制を
整備するとともに新たな顧客への
営業展開も計画

事業概要

水処理エンジニアリング事業



プラント事業



純水・超純水設備
排水処理・回収設備
有価物回収設備
プロセス関連設備

ソリューション事業

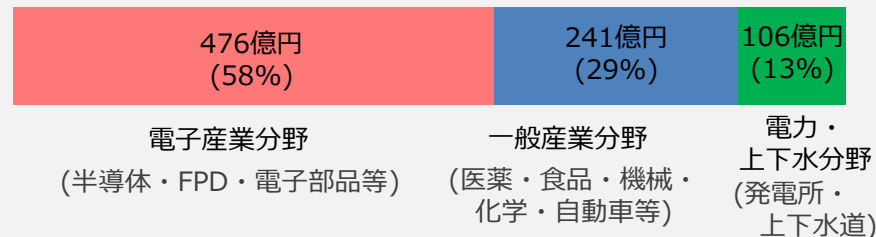


設備メンテナンス
運転管理・包括契約
設備増強・改造工事
水処理加工受託

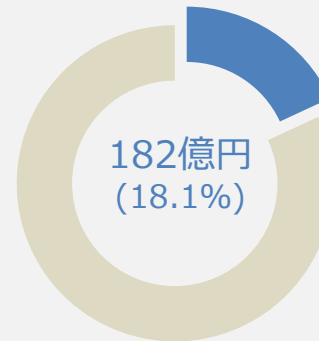
事業別売上高



顧客分野別売上高



機能商品事業



水処理薬品事業



排水・冷却水・洗浄・
RO膜・ボイラ等処理剤

標準型水処理機器・フィルタ事業



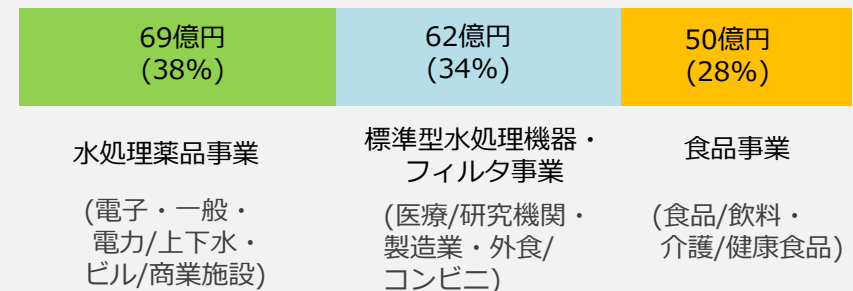
純水・超純水装置
浄水フィルタ

食品事業



食品添加剤・加工剤
食品素材

事業別売上高・主な顧客分野



※金額は21.3期売上高、%は売上構成比率

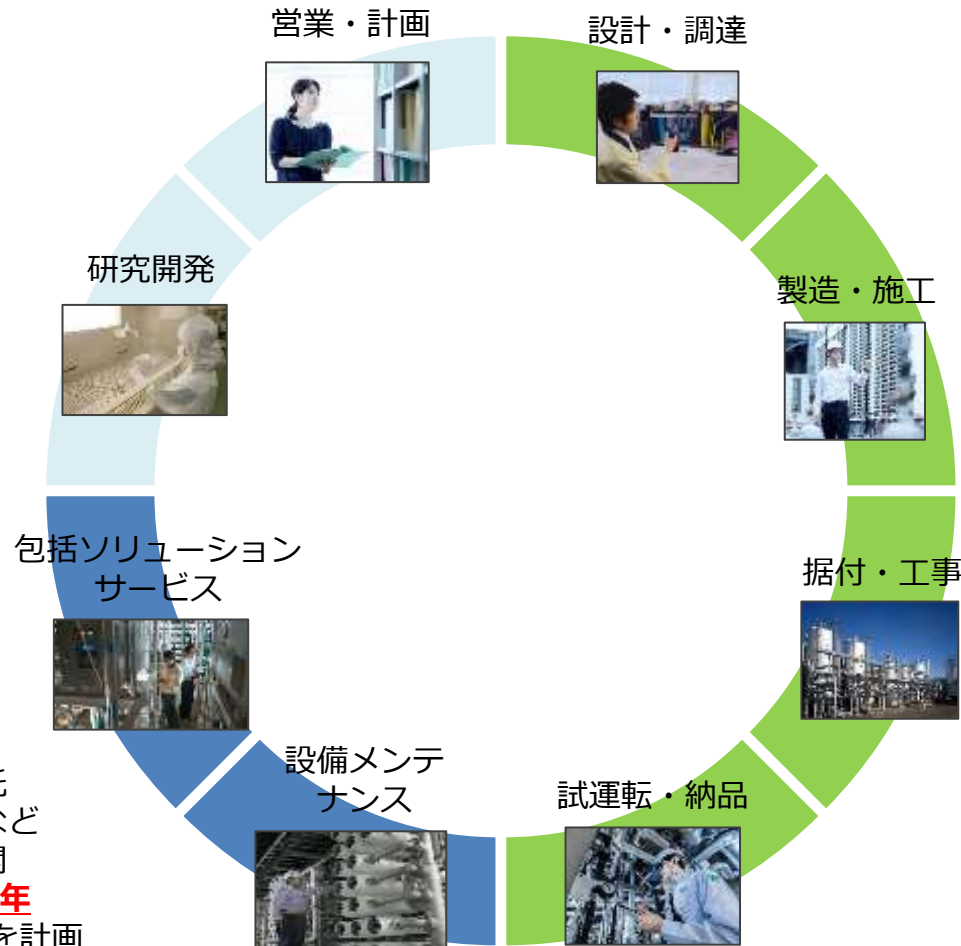
水処理エンジニアリング事業：事業のサイクル

研究開発・営業活動

- ・最先端技術の案件など客先との共同で実験を行うケースもあり
- ・新設だけでなく、納入設備の改造・増強を提案するケースも多い

ソリューション事業

- ・納入した設備に対するメンテナンスサービスはリピート率高い
- ・当社が設備を保有する加工受託契約や運転管理・包括メンテなどソリューションサービスを展開
- ・設備保有型のサービスは2024年3月期までに2百億円超の投資を計画



プラント事業

設備規模

水処理設備の一件あたり投資規模は数千万円～百億円超

施工期間

大型設備の施工期間は12～18ヶ月程度

受注・売上の計上

- ・受注は契約時点で計上
- ・売上は工事進捗度に応じて計上

採算性の管理・動向

- ・一定の追加コストのリスクを工事予算に織り込んで管理
- ・採算性は市場の設備投資動向にも左右される
- ・過去には投資減少による競争激化で利益率低下も

目 次

- 1. 会社概要
- 2. 2022年3月期 第3四半期決算
- 3. オルガノのご紹介

22年3月期第3四半期：決算概況

電子産業 分野	国内・台湾・中国とも好調継続。中国の伸長に加え新たに 米国で大型の半導体プロジェクトの受注に成功
一般産業 分野	大型プラントの売上が減少しているものの、 国内のソリューション事業を中心に堅調に推移
電力・上下水 分野	設備の更新需要やソリューション事業など 国内を中心に堅調な推移が続く
機能商品 事業	水処理薬品は電子産業向けの各種処理剤が好調続く。 標準型水処理機器・フィルタは医療機関向けの小型 純水装置などの販売回復、新製品「ピューリックμ(ミュー)」 の販売も順調にスタート。食品事業は前年同期並水準

22年3月期第3四半期：進捗状況

通期業績予想に対し、第3四半期までは順調に進捗

受注・売上・営業利益とも前年同期比増で進捗

通期の実績・予想に対する進捗率も前年同期比で改善

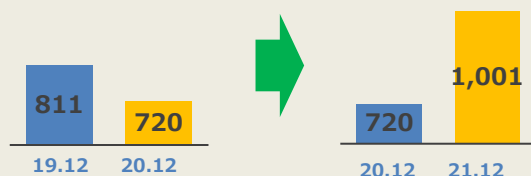
受注高

1,001億円

前年同期比

-11.2%

+38.9%



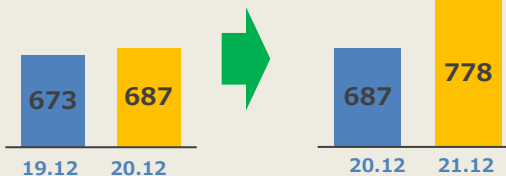
売上高

778億円

前年同期比

+2.1%

+13.2%



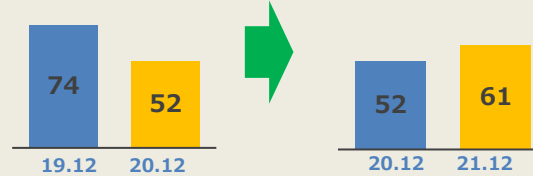
営業利益

61億円

前年同期比

-29.6%

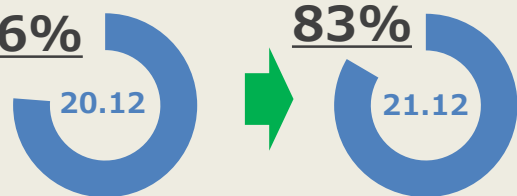
+16.7%



第3四半期実績/通期実績・予想進捗率

76%

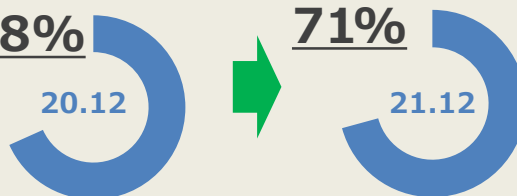
83%



第3四半期実績/通期実績・予想進捗率

68%

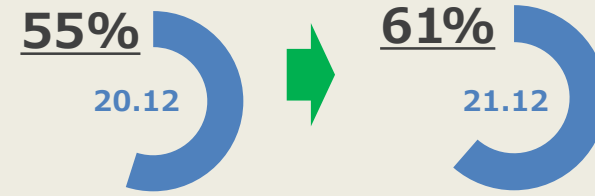
71%



第3四半期実績/通期実績・予想進捗率

55%

61%



22年3月期第3四半期：四半期間毎の業績推移

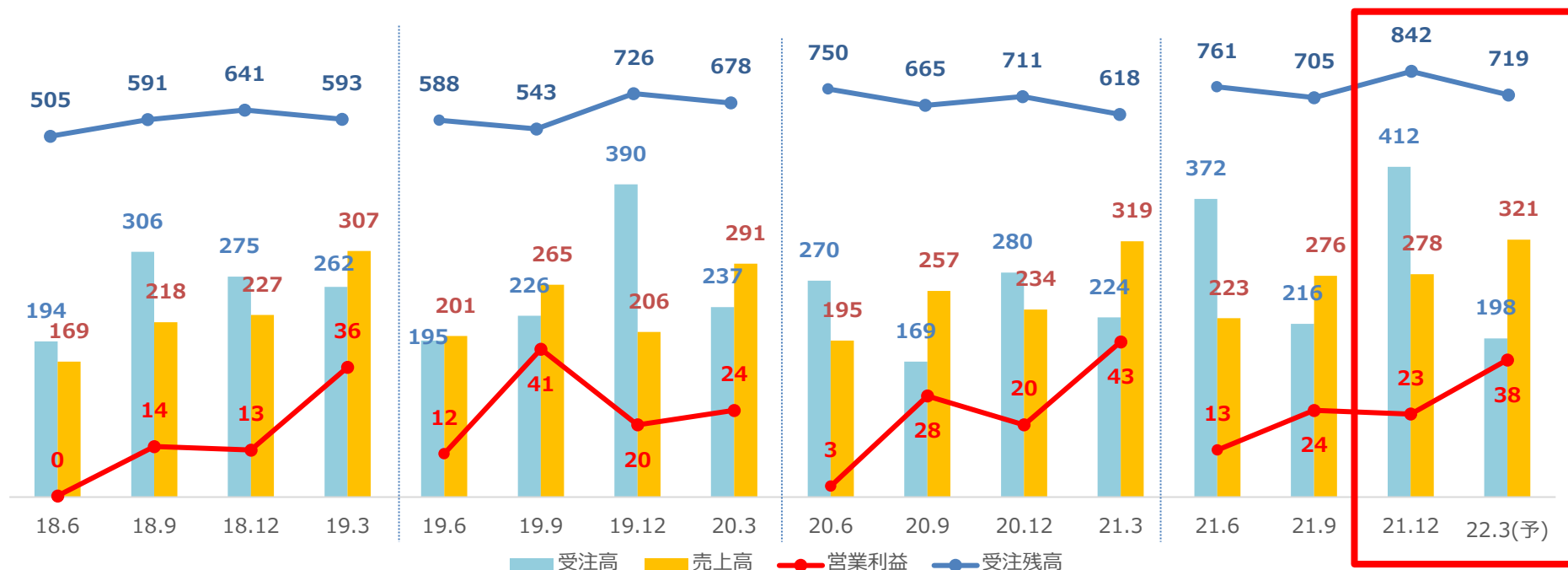
受注は案件動向次第、売上・利益は年度後半に集中する傾向

受注高の増減は大型案件の契約動向に大きく影響

売上・利益については納期が重なる第4四半期に集中する傾向あり

(単位：億円)

四半期間(3か月)毎の業績推移（受注高・売上高・受注残高・営業利益）



22年3月期第3四半期：損益計算書

(単位：百万円)	20.12(A) 実績	21.12(B) 実績	22.3(C) 通期予想	前年同期比 (B/A-1)	対通期進捗率 (B/C)
受注高	72,075	100,129	120,000	+38.9%	83.4%
売上高	68,736	77,834	110,000	+13.2%	70.8%
売上総利益 (%)	17,562 25.6%	19,102 24.5%	27,500 25.0%	+ 8.8%	69.4%
販管費	12,300	12,960	17,500	+ 5.4%	74.1%
営業利益 (%)	5,261 7.7%	6,141 7.9%	10,000 9.1%	+16.7%	61.4%
経常利益	5,421	6,654	10,300	+22.7%	64.6%
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	3,584	5,297	8,200	+47.8%	64.6%

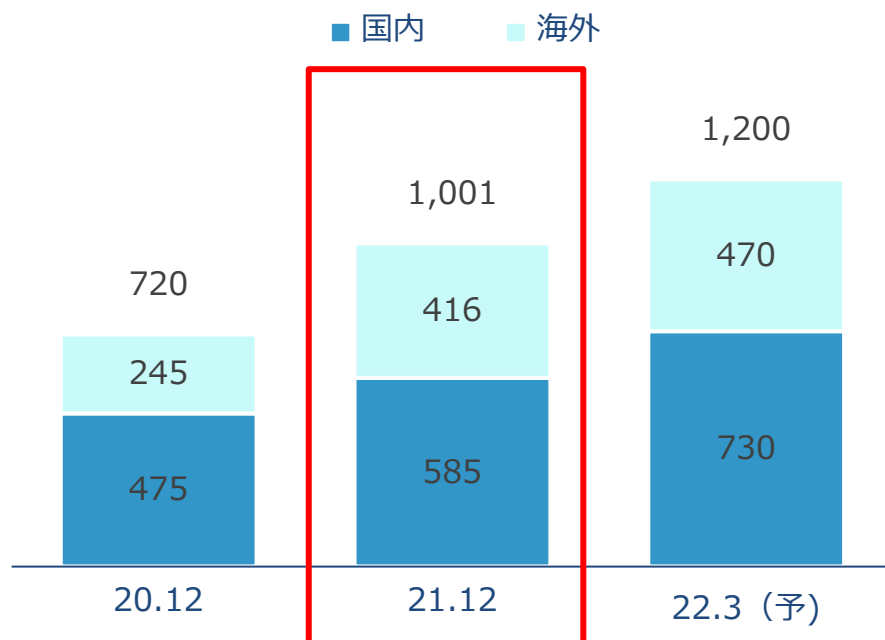
22年3月期第3四半期：受注高の状況（地域別）

第3四半期に大型案件を受注、通期予想は上ブレ可能性も

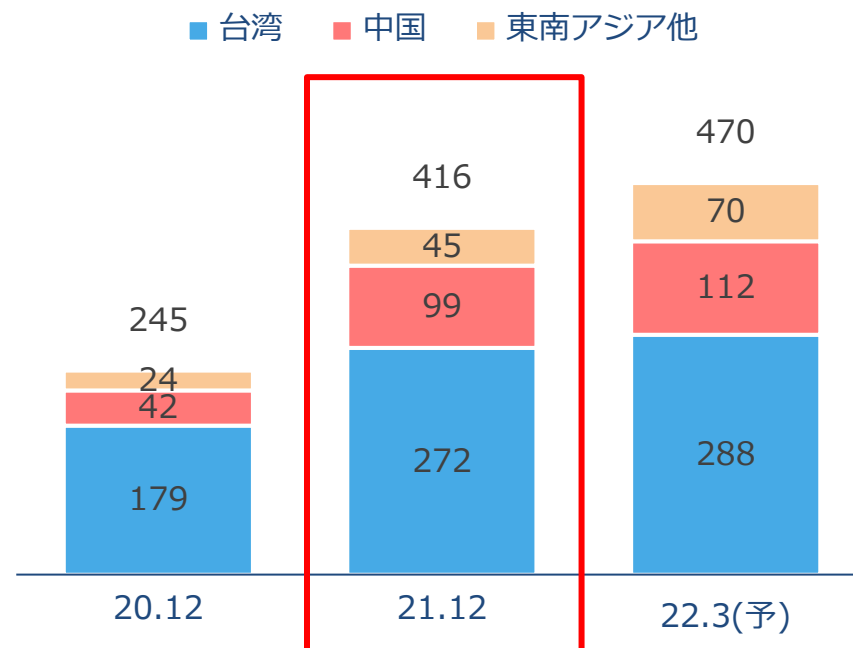
国内ではパワー半導体・ウェハー等のプロジェクトを受注
海外は台湾・中国に加え新たに米国の大型案件の受注に成功
(米国プロジェクトは受注窓口である台湾に含む)

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



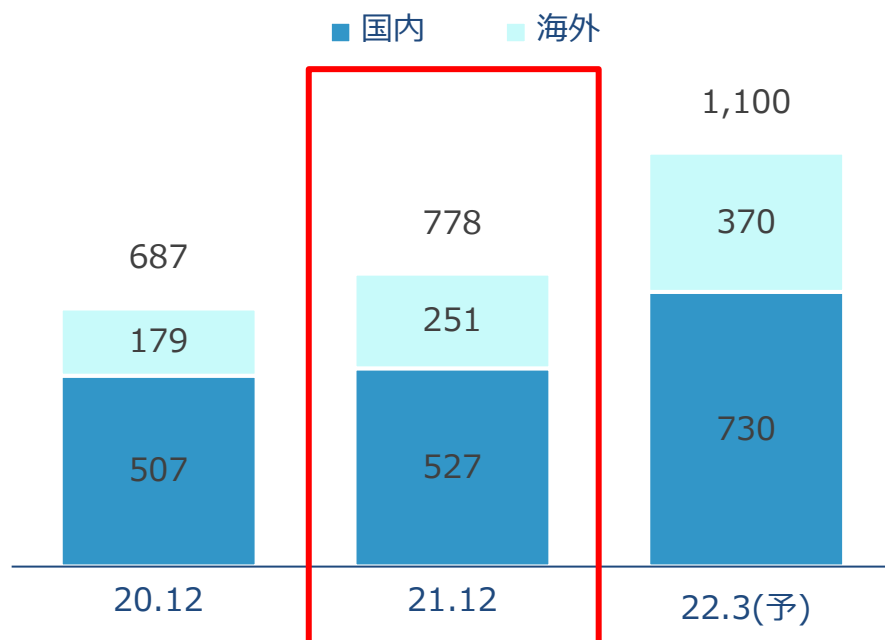
22年3月期第3四半期：売上高の状況（地域別）

受注案件の工事は順調に進捗、売上高の進捗は想定通り

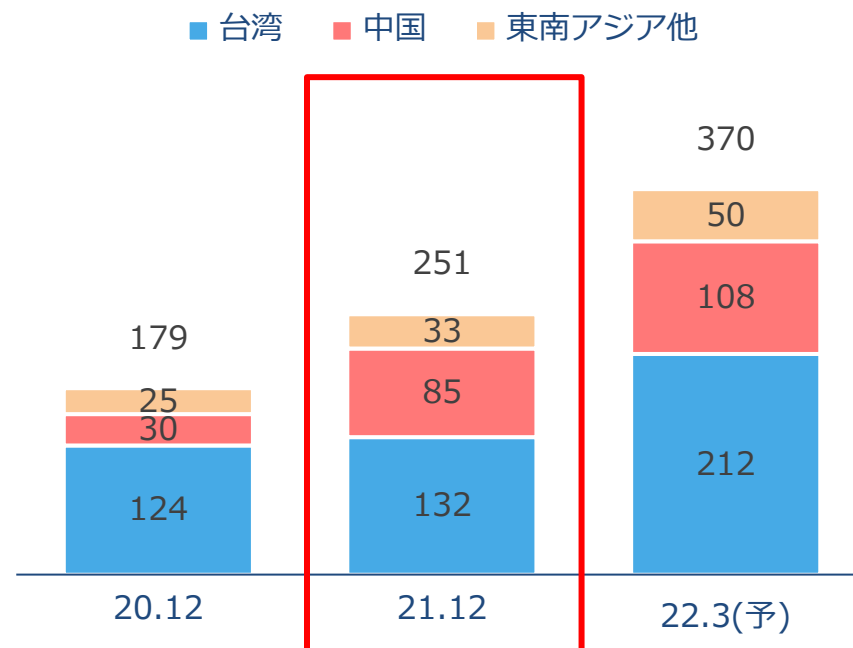
一部案件で工程の進捗遅れ等が見られているものの、国内外とも概ね想定通りに進捗。順調に進めば通期予想を達成する見通し

（単位：億円）

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



22年3月期第3四半期：水処理エンジニアリング事業の状況

電子産業分野を中心にプラント・ソリューションとも好調

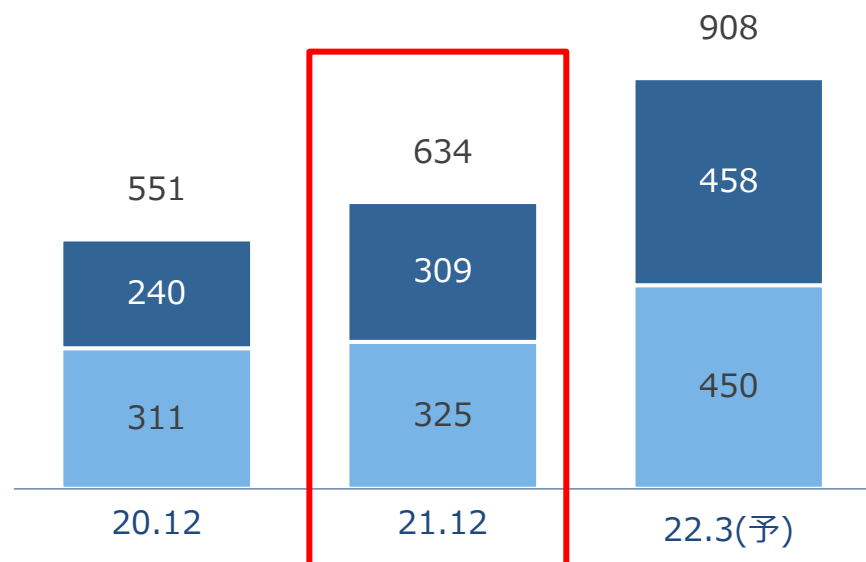
プラントは国内・台湾の大型案件の工事進捗により売上拡大

ソリューションは国内で新たな加工受託サービスを開始

(単位：億円)

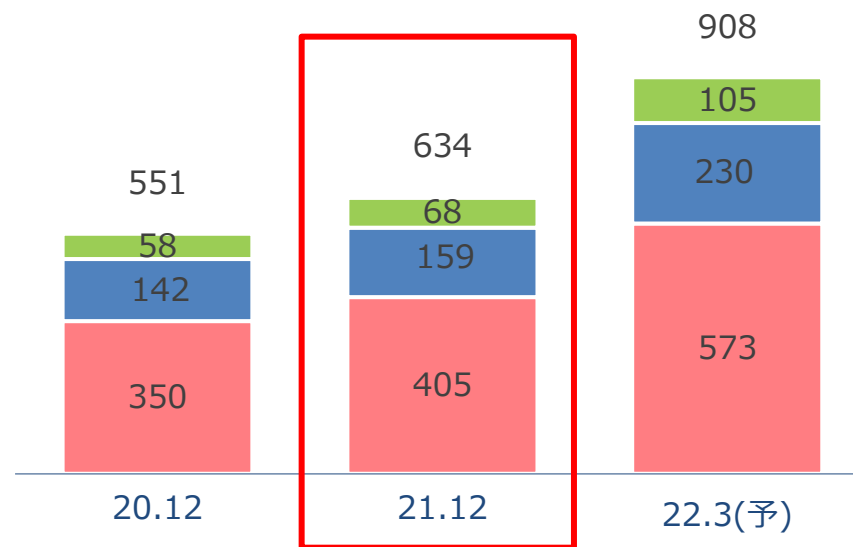
水処理エンジニア売上高：プラント・ソリューション

■ ソリューション ■ プラント



水処理エンジニア売上高：市場分野別

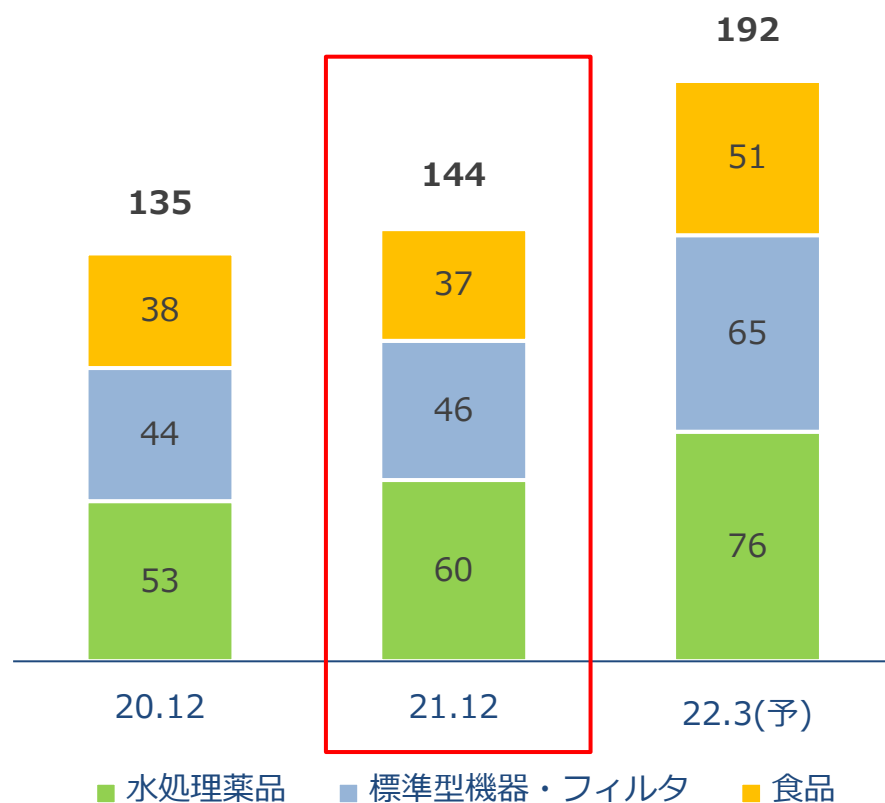
■ 電子産業 ■ 一般産業 ■ 電力・上下水



22年3月期第3四半期：機能商品事業売上高

(単位：億円)

機能商品事業売上高



■ 水処理薬品

電子産業向けの各種水処理薬剤が好調に推移。その他一般産業向けの冷却水処理剤や排水処理剤なども前年同期比で回復

■ 標準型水処理機器・フィルタ

前期コロナ禍の影響で落ち込んだ医療機関向けの小型純水装置や飲料ディスペンサー向けのフィルタなどの売上が回復

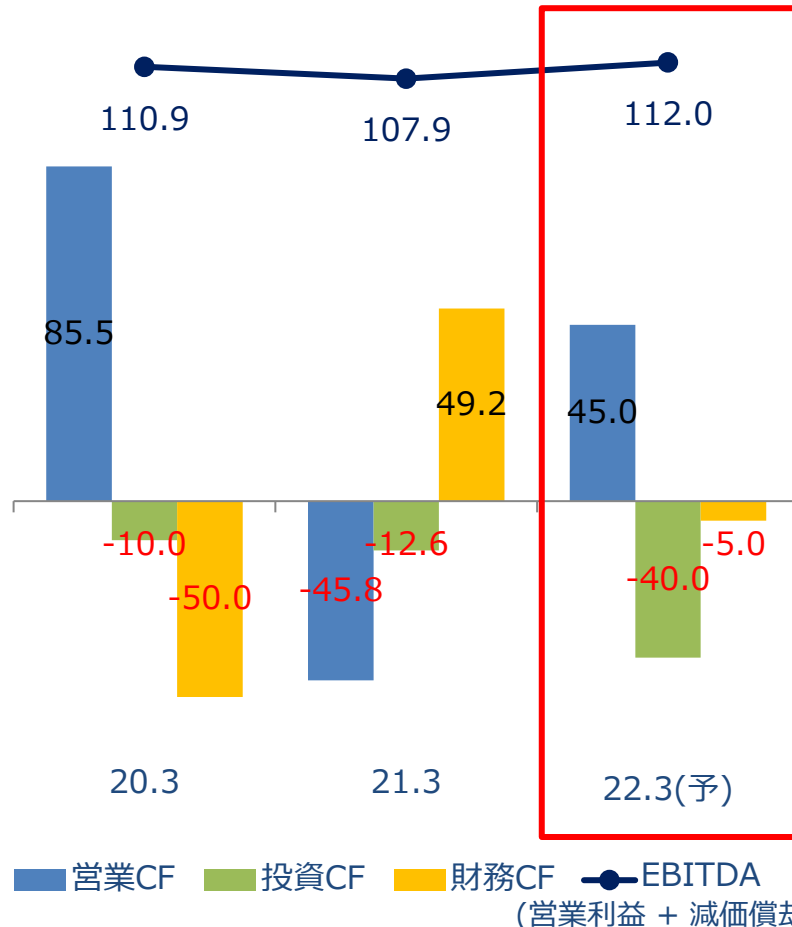
■ 食品

外食向けの製品が回復も、巣ごもり消費の一巡で売上高は前年並に留まる

キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

キャッシュ・フロー推移



- 当社キャッシュ・フローは業績の動向に加え、大型プロジェクトの工事進捗・代金の回収状況が増減に大きく影響

【2022年3月期の主な動き】

- 営業キャッシュ・フローには設備保有型ソリューション案件への投資金額を含む
21.3期~24.3期まで段階的に合計200億円を超える投資を見込む
- **米国現法**の設立やベトナムでの**グローバルエンジニアリングセンター**立上げなど海外の体制強化を進める
- 投資キャッシュ・フローには**開発センターの新棟増設30億円**を含む
- 財務キャッシュ・フローに含まれる配当総額は継続的に拡大。**22.3期は20.3期比47%増の15.4億円**を見込む

目 次

1. 会社概要
2. 2022年3月期 第3四半期決算
3. オルガノのご紹介

オルガノグループの歩み

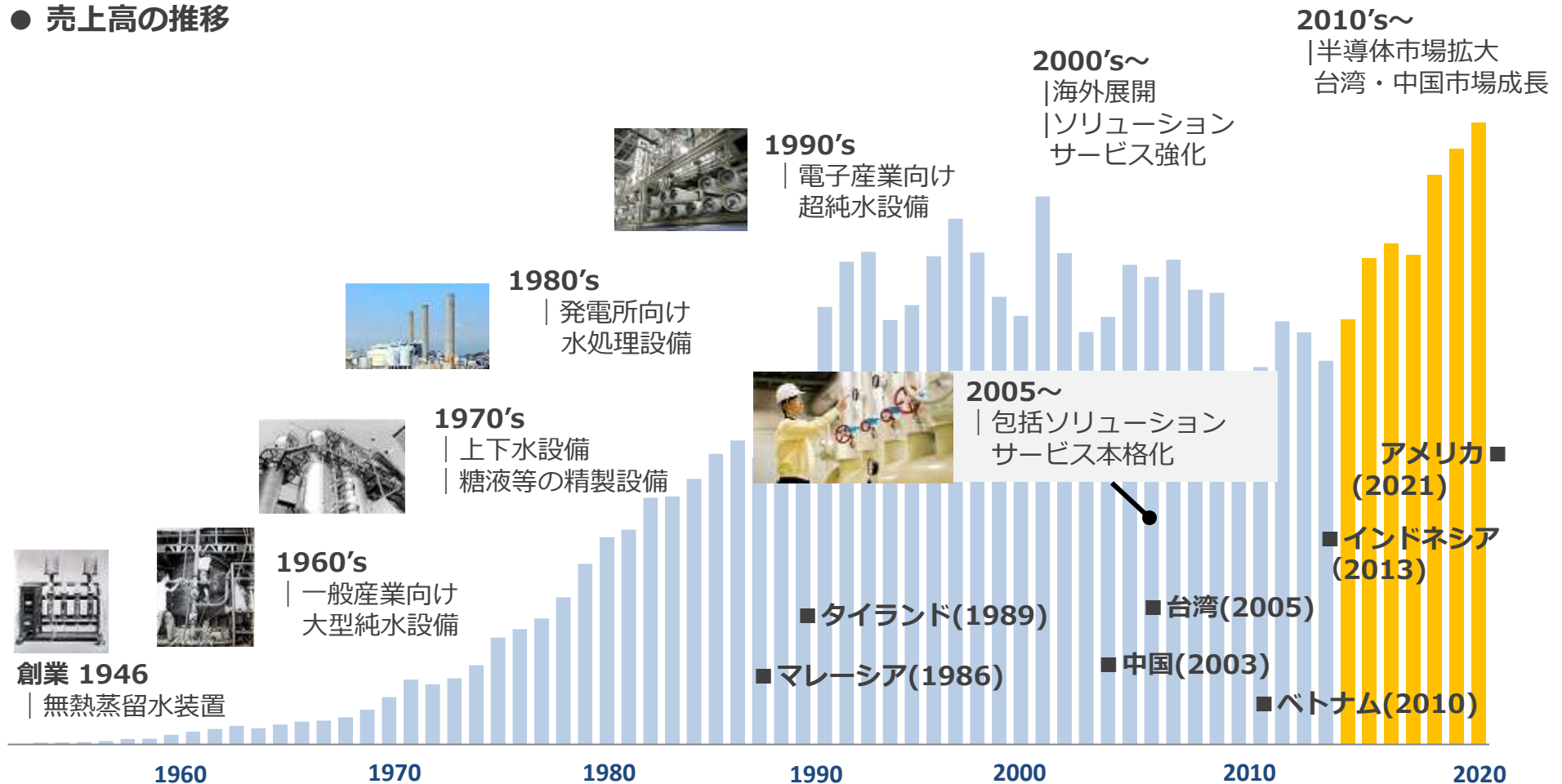
創業期

成長期

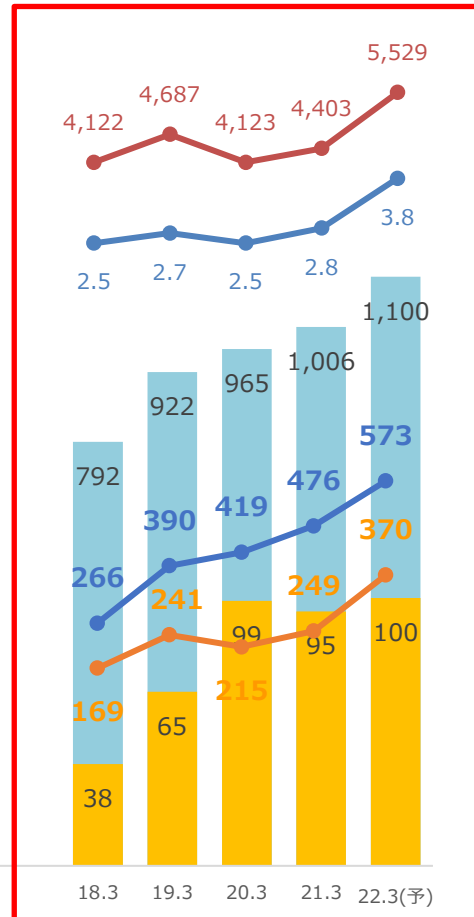
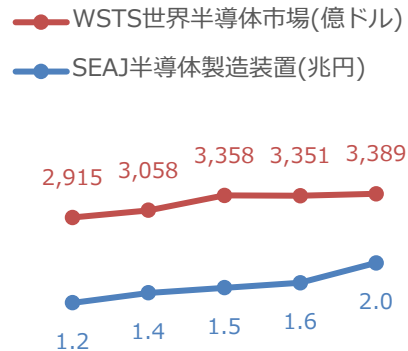
成熟期

飛躍期

● 売上高の推移



飛躍期～直近の業績拡大の背景



■ 売上高 ■ 営業利益 (単位：億円)

電子産業分野の伸長

2018年以降の半導体市場の伸びが影響。当社業績も国内外の半導体投資を中心に電子産業分野をドライバとして成長続く

台湾・中国市場の拡大

地域別では台湾・中国市場が大きく成長。ファウンドリーや各種の半導体分野の投資が拡大

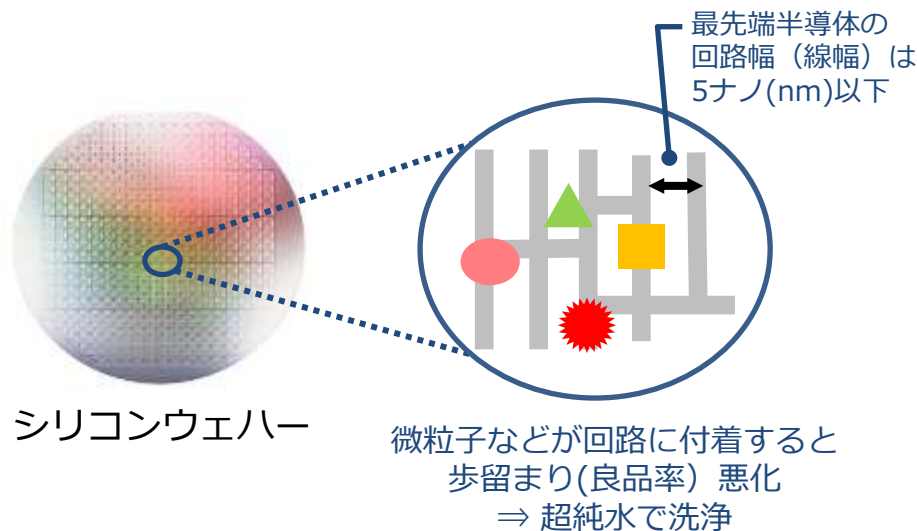
採算性の改善

比較的利益率の高いソリューション・機能商品の伸長に加え、プラント部門の受注採算性改善やコストダウンが奏功

半導体と水

多くの工程が必要な半導体製造プロセスのうち、3割程度を洗浄工程が占めると言われています。ウェハーの製造、成膜、エッチング、レジストなどの前後で繰り返し行われる洗浄プロセスに超純水が用いられています

超純水で歩留まり改善に貢献



≤1ppt

水の純度

最先端の超純水はppt(ng/L)以下レベル
(1/1,000,000,000,000以下)
10ml中に50ナノ(nm)サイズの微粒子が0

1,000t

水の容量

大規模な半導体工場では
1時間で1,000 t 程度の純水を製造
⇒ 50mプールが2時間で満杯に

80%

水の回収率

最先端の半導体工場では80%を超える水回収率を誇る
⇒ 水のリサイクルだけでなく、排水から有価物も回収

オルガノはウェハーやチップの洗浄に用いられる超純水の供給設備や、洗浄・その他の製造工程で生じる排水から水のリサイクルやフッ素・レアメタルなどを回収・再資源化するシステム、排水を無害化・廃棄物を低減するための処理設備などを提供しています

オルガノの価値創造プロセス

【経営理念】

水で培った先端技術を駆使して
未来を創る産業と社会基盤の発展に貢献する

地球環境

気候変動対応・脱炭素

持続可能な成長

環境負荷低減

技術の進化

IT・ライフサイエンス

人口減少社会

少子高齢化

ターゲット市場

電子産業・ライフサイエンス・エネルギー
台湾・中国・アメリカ市場

成長ドライバ

エンジニアリング・ソリューションサービス
機能材料・水処理薬品

事業基盤の強化

SDGs/ESG・安全/コンプライアンス
DX推進・ダイバーシティ

社会価値

水資源の
有効利用

省エネルギー

従業員価値

顧客価値

高度
分離・精製

リサイクル

株主価値

水処理エンジニアリング・分離精製技術

社会・産業に対する水処理ソリューションの経験と実績

社会課題

ビジネス

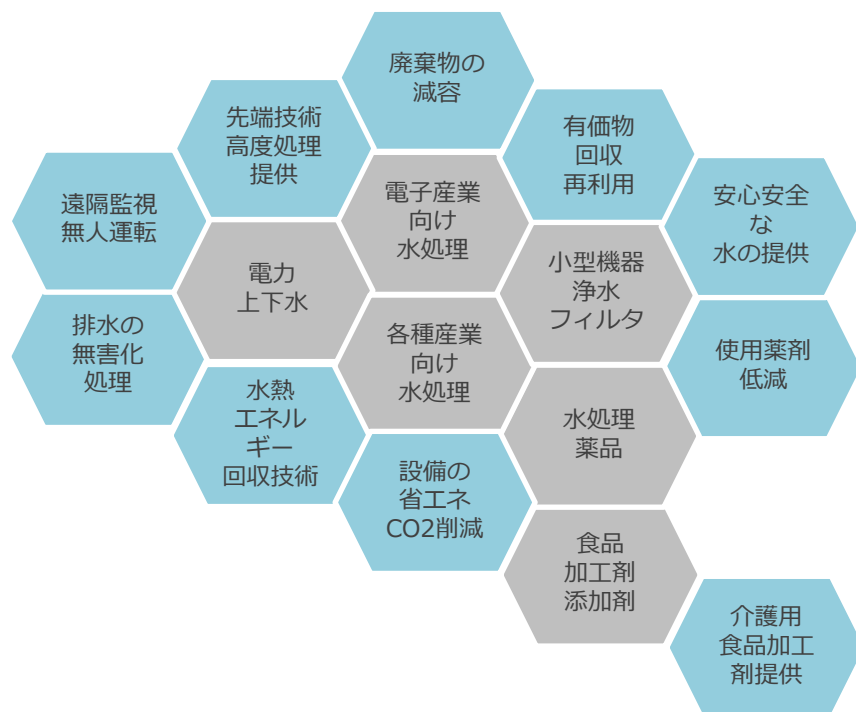
提供価値

SDG s への取り組み

水資源の有効利用や省エネ・環境負荷低減などに取り組む

当社の製品・技術・サービスは多くのSDG s 項目に貢献

当社の製品・技術を通じてお客様と共に社会的な価値を提供



オルガノのサステナビリティ・サービス

排水からのフッ酸回収技術 エコクリスタ

半導体製造に用いられるフッ酸を工場排水から回収。高純度のペレットとして精製し、フッ酸の原料としてリサイクル



2014年度 (一社)産業環境管理協会
資源循環技術・システム表彰 経済産業大臣賞

水の熱を利用した省エネ・脱炭素 水熱利用システム

ヒートポンプ技術を活用し、工場等で使用される水の熱をエネルギーとして利用。50%以上の消費電力・CO2削減を実現



2016年度 省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞

冷却水処理剤 オルブレイド

当社開発の新殺菌成分を含む世界初の冷却水複合処理剤。工場の空調などに利用される冷凍機の冷却水を最適処理し、消費電力の削減に貢献



2020年度 省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞

RO膜処理設備の省エネソリューション オルスマートRO

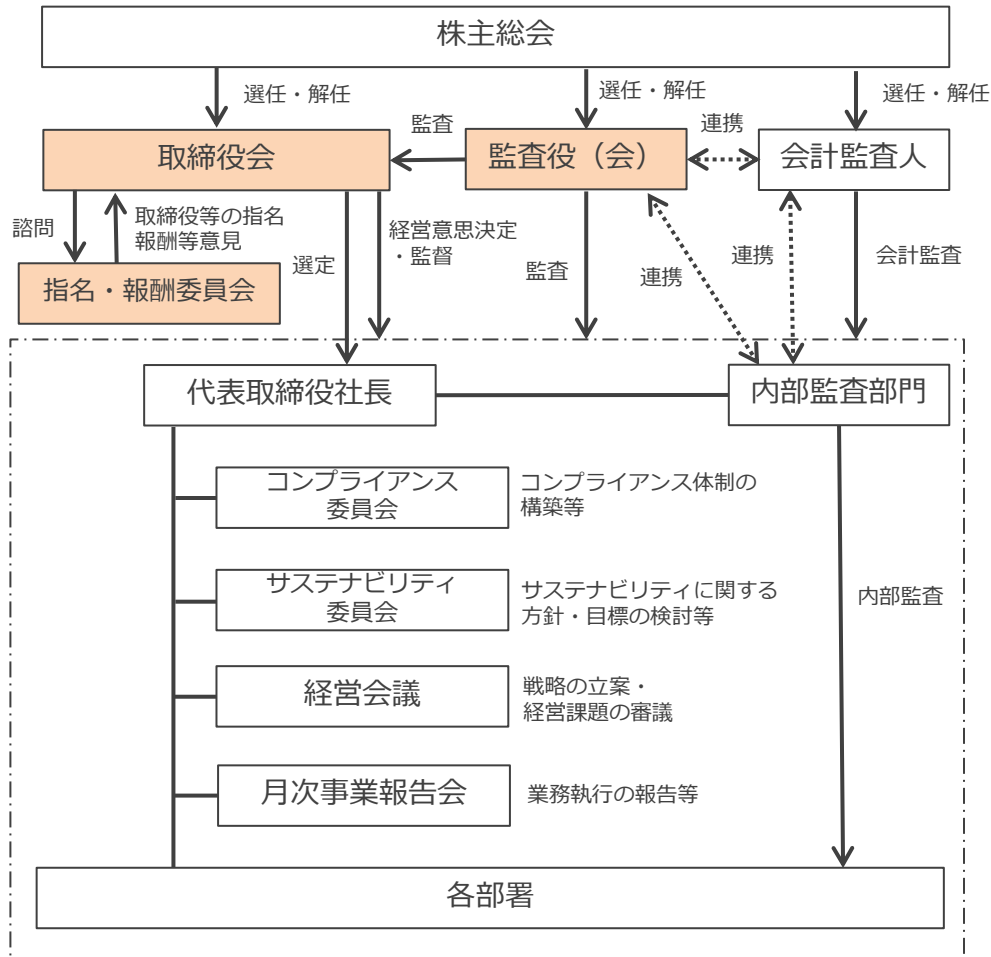
当社独自の運転管理・遠隔監視・薬剤を組合わせたソリューションサービスにより、RO膜水処理設備の消費電力・CO2排出量を削減



2021年度 省エネ大賞 審査委員会特別賞

コーポレート・ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンス体制についての模式図



取締役会

独立社外取締役3名を含む
取締役9名で構成

監査役会

財務・会計、法務に関する高い
知見を有する社外監査役2名
(うち女性1名)を含む監査役
3名で構成

指名・報酬委員会

独立社外役員3名を含む
取締役4名で構成
委員長は独立社外役員から選出

コーポレート・ガバナンス改革への取り組み

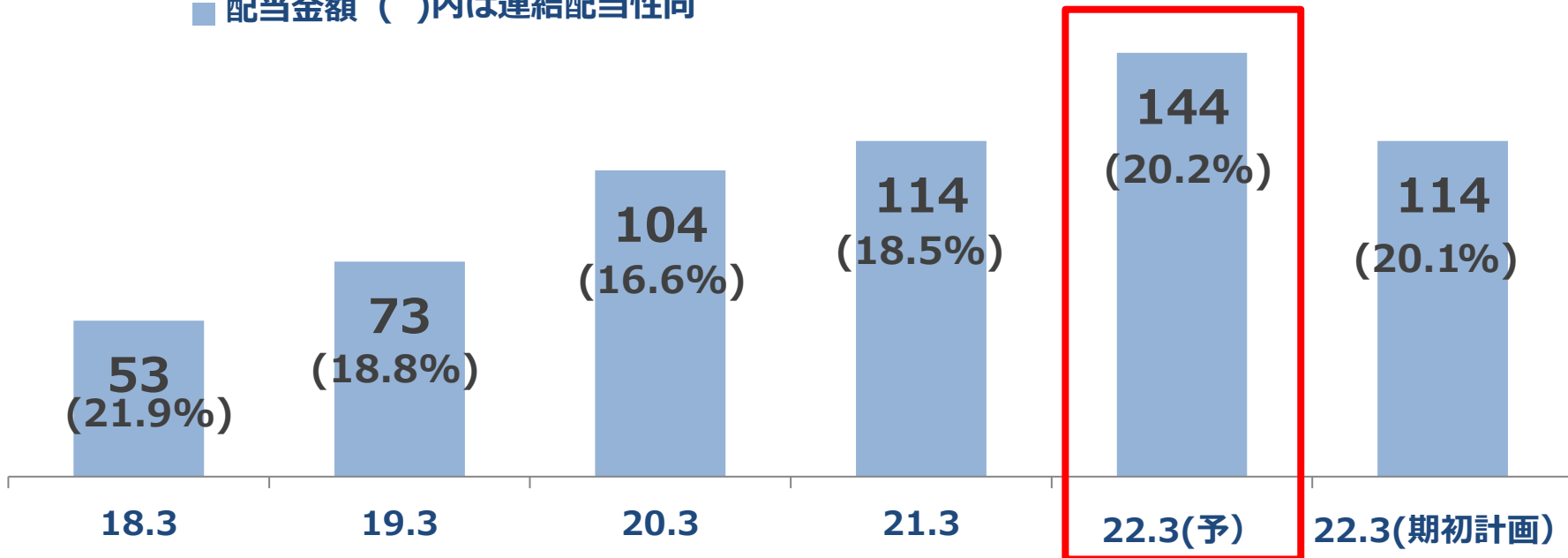
課題	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取締役選任 後継者計画	・指名・報酬委員会設置 ・当社(指名・報酬委員会)と親会社(指名・報酬諮問委員会)で協議会設置		取締役会に 求められる スキル特定	
取締役報酬の インセンティブ、 決定プロセスの 透明性		「取締役の報酬等 決定に関する 方針」策定		
役員構成		独立社外取締役 の割合を 1/3以上に	女性監査役 1名就任	
IR活動	招集通知 決算短信の 英文化	・決算説明会 動画配信 ・統合報告書作成	投資家向け 説明会の充実	

配当金の推移

- 22.3期は上期実績及び通期見込とも期初計画より上方修正。
これに伴って年間配当金は前期比30円増となる144円を予定
- 安定的・継続的な配当の実施を基本方針としつつ、
収益の状況に応じた利益配分に努める

(単位：円)

■ 配当金額 ()内は連結配当性向



お問い合わせ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

お問い合わせフォーム

<https://www.organo.co.jp/contact/>

